

機器利用装置一覧

機器名称	製造会社	型式	製造番号
磁界発生器	EMC PARTNER	TRANSIENT 3000	TRA3000 F-D- V-1502
1m ループコイル	EMC PARTNER	MF-1000	MF1000-1- 1533

○試験時の注意事項

→ 測定室内での注意事項

- 機器利用対象機器以外のものに触れないでください。
- 敷設された配線を踏まないでください。
- 測定室内での飲食はご遠慮ください。通路スペースをご利用ください。

→ 測定時の注意事項

- 数値データ等の測定結果はありません。試験結果は試験中の製品の状態を写真やメモ等で記録しお持ち帰りください。
- 機器利用ご利用における規格等の技術的なご質問にはお答えできかねますのでご了承ください。

電源周波数磁界試験_機器利用マニュアル

使用可能な装置/備品

- 電源装置

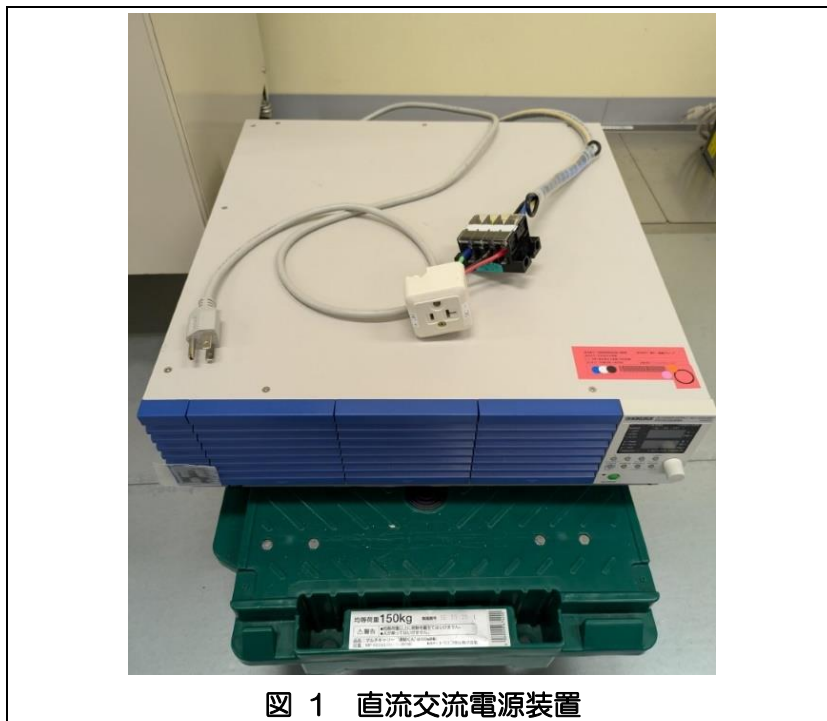


図 1 直流交流電源装置

- その他工具/テープ類/固定台

テープ、テスター、アルミホイル等
(内線が置いてある台の下)



図 2 テープおよび工具類

工具、AC タップ (入口脇)



図 3 工具類

試験品の高さ調整用の固定台
(木台、発砲支持台)



図 4 木台および発砲剤

1. 試験品の配置および立ち上げ

図 5 に示すように試験品をループアンテナの中央になるように配置します。



図 5 ループアンテナ(1m×1m)および試験台

試験台へ配置後、次に試験品に電源を投入し、試験動作モードに移行する。この時に、電源装置を用いて試験品を起動させます。

電源周波数磁界試験_機器利用マニュアル

2. 印加する条件の設定

下図が電源周波数磁界の試験器の外観である。基本操作は、この試験器の各種ボタンを押下し進めます。

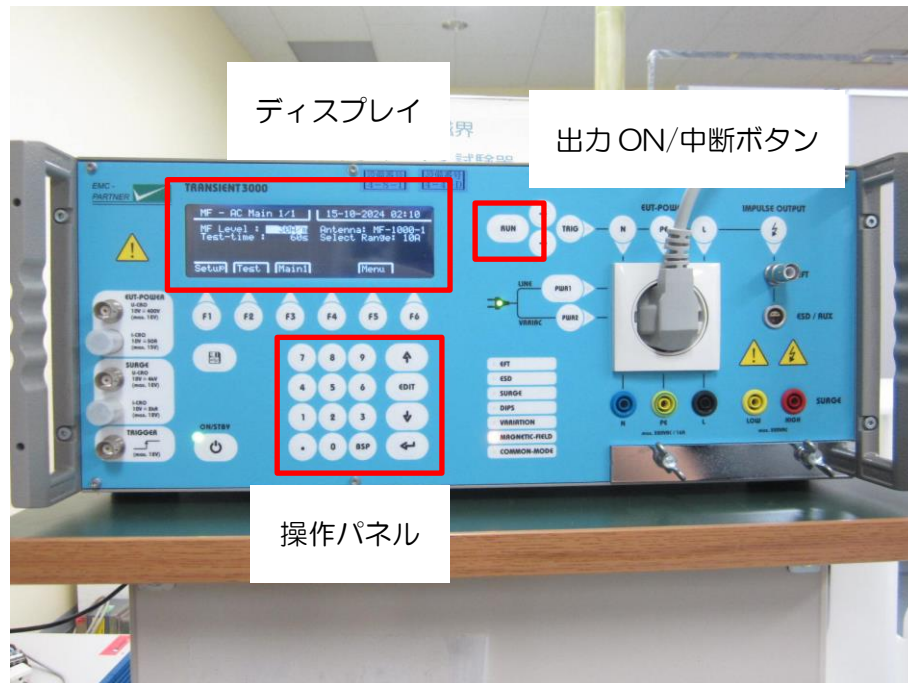


図 6 電源周波数磁界試験器外観

電源周波数磁界の強度を設定します。下図赤枠のボックスの底面にあるつまみを回転させます。

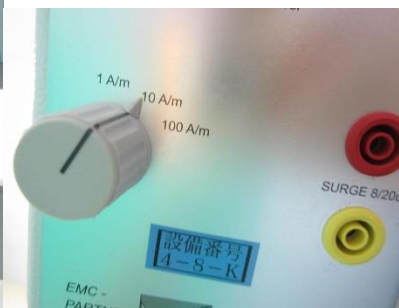
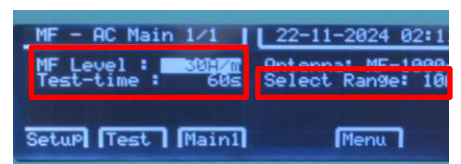


図 7 単位の設定

レベル	ボックスの設定
1 1A/m	1A/m
2 3A/m	1A/m
3 10A/m	10A/m
4 30A/m	10A/m

※試験機ディスプレイの「Select Range」と一致するように設定する。



電源周波数磁界試験_機器利用マニュアル

印加する電源周波数磁界のレベルおよび印加時間を設定する。

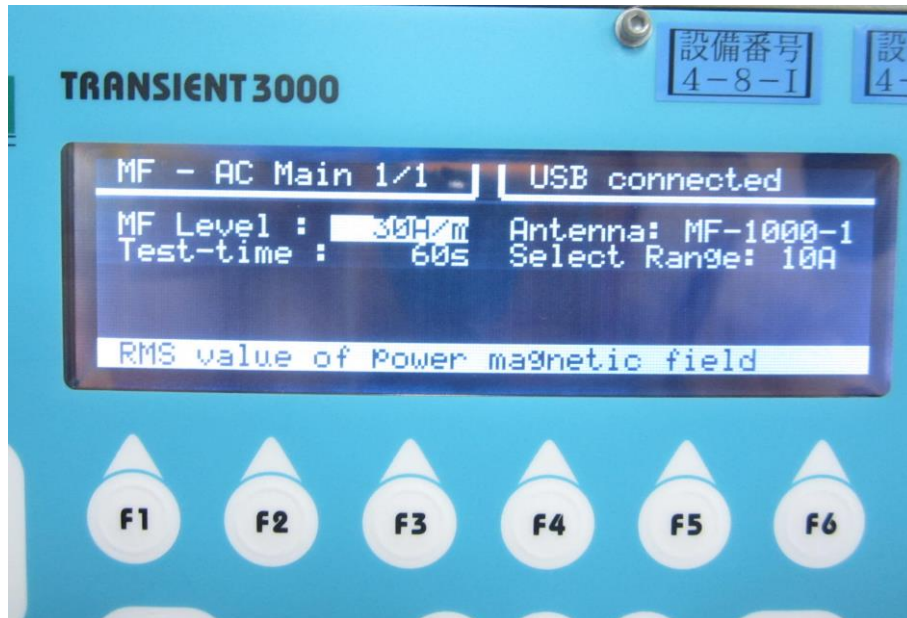


図 8 各種設定

変更させたい試験条件を↑ボタンもしくは↓ボタンで選び、↵ボタンを押下します。

モニターの数値が点灯するのでパネルから所望の数値(例えば 1A/m)を設定して、再度↵ボタンを押下します。

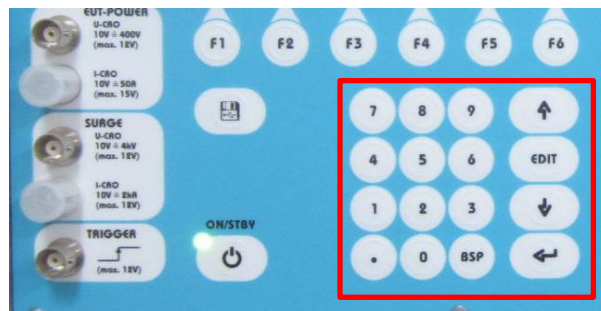


図 9 パネル

電源周波数磁界試験_機器利用マニュアル

3. 電源周波数磁界の印可

RUN ボタンを押下すると電源周波数磁界が印加され、試験レベルと試験時間のインジケータが表示されます。

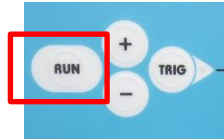


図 10 RUN ボタン

※注意

試験中はループアンテナに触れないでください。数 A～数十 A の交流電流がループアンテナ上に流れます。決して触れないようにご注意ください。

また、アンテナに巻き付いているラップは感電防止用です。故意に剥がさないでください。ようお願い申し上げます。

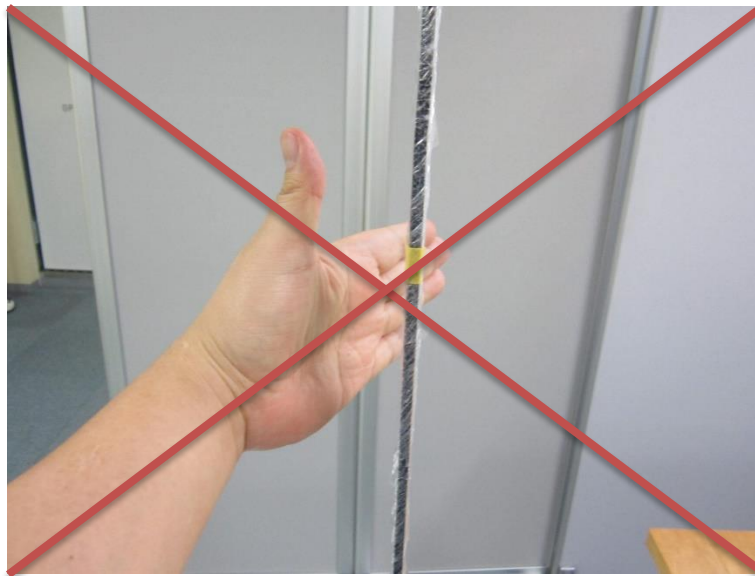


図 11 アンテナとの接触

電源周波数磁界試験_機器利用マニュアル



図 12 電源周波数磁界の印可中

インジケータが最大まで達し試験が終了すると、下図の画面に移行します。

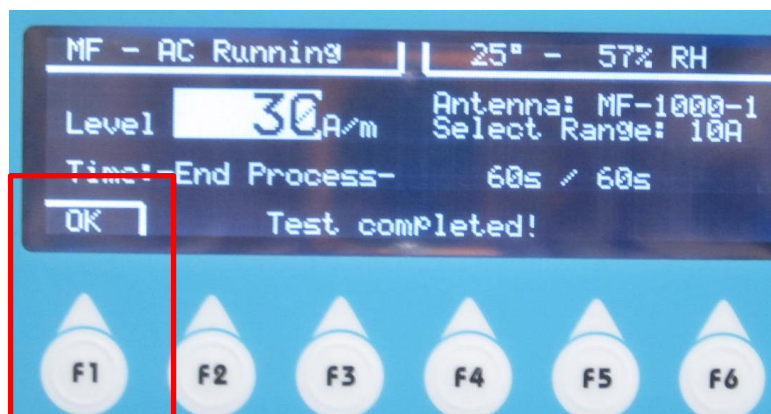


図 13 試験終了後の画面

F1 ボタン(OK)を押下すれば、1 条件が終了します。F1 を押下後は、初期状態に移行するので軸を変更して、続けて試験を実施します。

電源周波数磁界試験_機器利用マニュアル

4. 軸の変更

試験品の軸を変更する場合、ループアンテナは動かさずに試験品を回転させます。

※ループアンテナ自体を回転させることはできません。

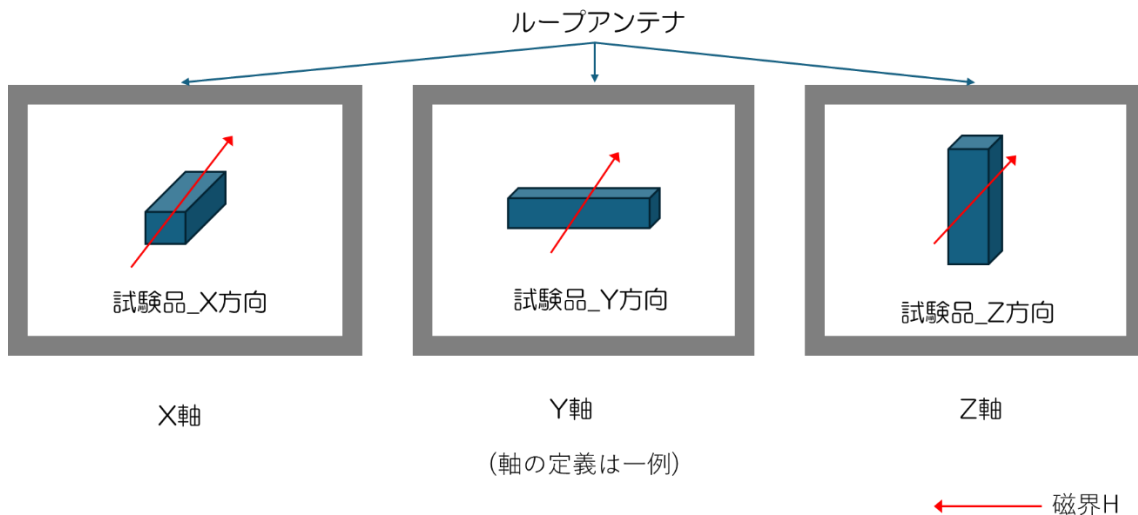


図 14 試験品と軸の向き

5. 電源周波数の変更(50Hz もしくは 60Hz)

詳細は電源装置(CVCF)横のマニュアルに操作方法が記載されているので、そちらを参考にして操作してください。CVCF から周波数と試験品に供給する磁界の周波数を合わせます。



図 15 CVCF の外観

※CVCF の電源電圧は 200V から変更しないでください。

試験品用の電源装置の説明は別紙に記載しています。

以上

(Ver.1)